

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	81	百人町三・四丁目地区の整備推進					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	02	災害に強い安全なまちづくり					
施策	01	防災都市づくり					
事業内容							
目的	東京都の地域防災計画で広域避難場所に指定されている当地区について、広域避難場所の機能強化を図るとともに、良質な市街地住宅の供給と居住環境の整備を図っていきます。						
対象・手段	対象：百人町三・四丁目周辺区民及び事業者、公共施設管理者 手段：地区計画、防火地域の指定による建築物の構造制限及び住宅市街地総合整備事業（拠点開発型）を組み合わせることにより、公共施設整備や住宅建設事業などを推進し、安全で良好な居住環境の保全・改善を誘導します。						
成果（事業が意図する成果）							
都営住宅の建替えなど住宅建設事業により、職住近接の良好な住宅の整備が促進されます。また、広域避難場所として指定されている当地区において、十分な通行機能、沿線機能及び空間機能を有する各区画街路や災害時一時活動拠点であるポケットパークとして整備することによって、広域避難場所としての機能強化と良好な居住環境の保全・改善を図ることができます。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
道路用地買収面積		地区内における道路用地買収面積 (道路整備必要面積 2626.78㎡)			() 年度に (2626.78㎡) の水準達成		
整備済公園面積		地区内における整備済公園面積 (公園整備必要面積 10,435.64㎡)			(平成19) 年度に (10,435.64㎡) の水準達成		
					() 年度に () の水準達成		
成果の達成状況							
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
事業成果指標	目標値 1	㎡	2,626.78	2,626.78	2,626.78	2,626.78	
	実績 1	㎡	50.19	50.19	50.19	50.19	
	= /	%	1.91	1.91	1.91	1.91	
	目標値 2	㎡	10,435.64	10,435.64	10,435.64	10,435.64	
	実績 2	㎡	8,696.73	9,199.96	9,887.07	10,435.64	
	= /	%	83.34	88.16	94.74	100.00	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	公園整備方針に基づくポケットパークの整備（環境土木部（現みどり土木部）事業）						
平成19年度	公園整備方針に基づくポケットパークの整備（環境土木部（現みどり土木部）事業） 区画街路2号線拡幅整備に係る地区計画変更手続き（20年4月1日変更告示）						

部名称		都市計画部		課名称		地域整備課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	2,350	1,196	1,451	0	
	人件費	千円	417	417	414	413	
	事務費	千円	39	48	21	39	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	2,806	1,661	1,886	452	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	2,806	1,661	1,886	452	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	2,806	1,661	1,886	452	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.05	0.05	0.05	0.05	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>当地区内における公園整備と住宅整備は、区の単独事業として実施してきたポケットパークの整備が完了するとともに、東京都が実施している地域住宅交付金を活用した公営住宅整備事業が20年度で完了予定となるなど、着実な整備が図られてきました。一方、地区計画に定められた道路の整備は、まだ整備が完了していない区画街路のうち区画街路5号線など一部路線では未買収用地があとわずかとなっているものの、他の道路では、公共施設や民間の建替えの機会などを捉えた整備を図る必要がありますので、それらの計画との調整が課題となります。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	2	公園整備は、19年度末で整備完了となり目標水準を達成しました。道路整備は、都営住宅の建替えに合わせた整備は計画どおり進んでいますが、そのほかの道路整備は、計画どおりには進んでいません。				
	実施の成果	2	公園整備は、事業実施により、所期の成果を達成することができました。しかし道路については、当初の計画を達成できていないため、所期の成果を上げるに至っていません。				
	効率性	1	規制・誘導型のまちづくり手法を行っており、区が積極的に用地取得を行うことができないため、効率的ではありません。				
	行政の関与	2	国の補助事業としては、平成20年度で終了しますが、その後も地区計画に基づく道路拡幅や建物の建替えなどを誘導するため、引き続き区の関与が必要です。				
	妥当性	2	当地区のまちづくりは、広域避難場所としての機能改善だけでなく、良好な住環境が確保されるなど、「安全」と「快適」を誘導・再生するものであり、まちづくりとして妥当性が高いといえます。				
	施策寄与度	2	拠点の開発事業である都営住宅建替えや、公園整備は、まちづくりに大きく寄与しました。今後は、協働型のまちづくりとして、時間をかけて目的の達成を目指していきます。				
総合評価	19年度の評価はBとします。これは、ポケットパークの整備を予定どおり終え、目標水準を達成したからです。また、17年度から19年度までの実績もBと評価します。これは、公園整備によるオープンスペースの確保や、都営住宅の建替え及びこれに合わせた道路整備等による居住環境の改善において、目標どおりの成果を上げており、住宅市街地総合整備事業の20年度事業完了に向け、仕上げの段階を迎えることができたからです。今後、まだ地区計画の地区整備計画を達成していない道路については、拡幅・新設の必要性や地区計画の意義などを分かりやすく説明しながら、整備に取り組んでいきます。						
	B						
改革方針	住宅市街地総合整備事業は、都営住宅の建替え完了に伴い、20年度末をもって整備計画期間が終了します。このため、住宅市街地総合整備事業としては20年度末をもって事業完了となりますが、実施計画事業としての本事業は19年度をもって終了し、最終年度である20年度は、経常事業「百人町三・四丁目地区再開発促進」として実施します。						
	なお、当地区は、住宅市街地総合整備事業の事業完了後の21年度以降についても、広域避難場所としての機能強化と良好な居住環境の保全・改善に向けて、都市計画として定められている地区計画や防火地域の目的やしくみを説明しながら、まちづくりを経営的に促進していきます。						
	方向性 2 手段改善						